

第 2 章 地域の概況及び地域特性

第2章 地域の概況及び地域特性

2.1 調査対象地域等の設定

計画区域及びその周辺地域における自然的社会的状況に関する情報等を収集し、当該地域の地域特性の把握に努めました。自然的社会的状況に関する情報等の収集は、図2.1-1に示すとおり、計画区域を中心とした約3.5km四方の区域（以降、「調査区域」とします。）を対象として行うことを基本としました。統計データの情報収集に関しては、港南区、南区、磯子区の合計3区（以降、「調査対象地域」とします。）を対象としました。

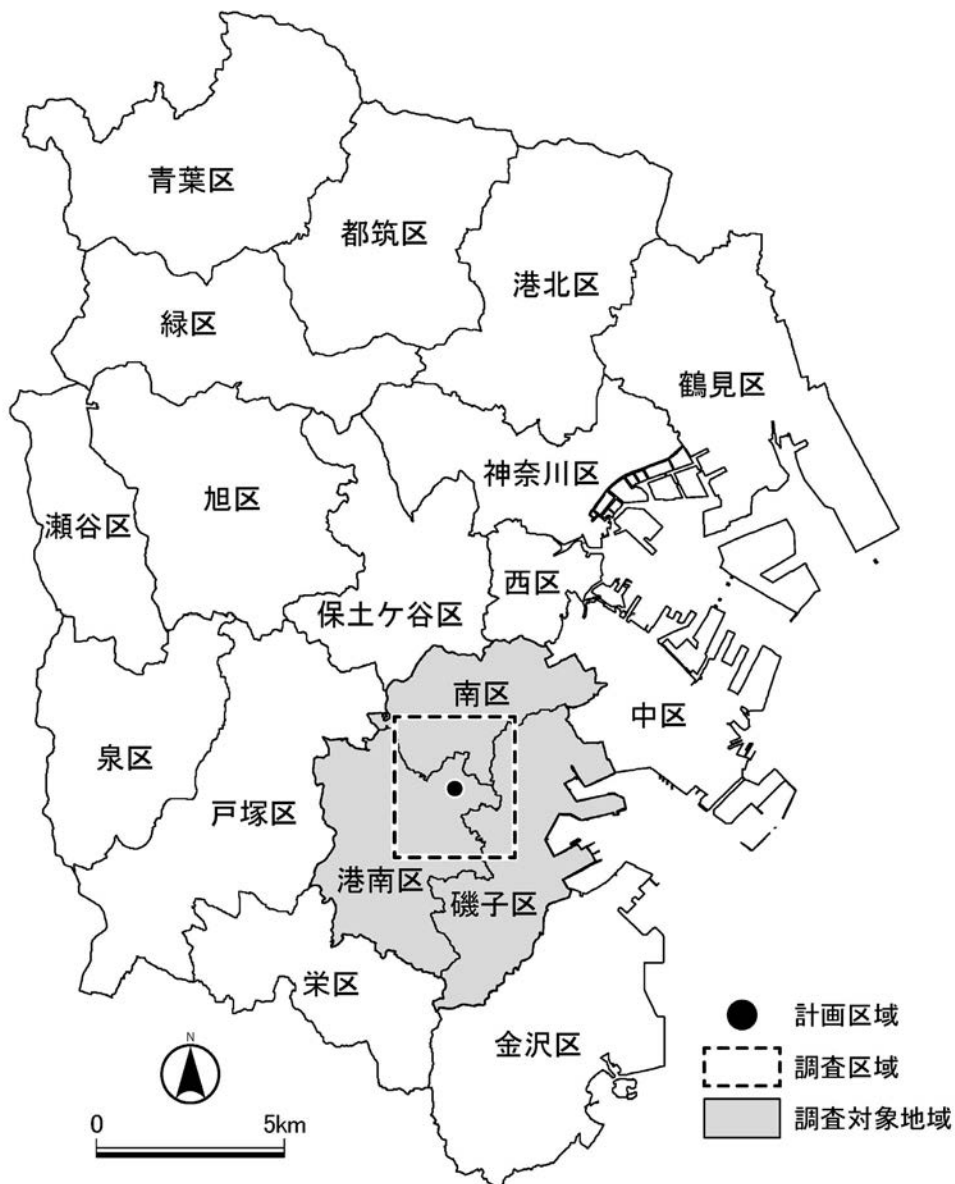


図 2.1-1 調査対象地域等の位置

2.2 地域の概況

2.2.1 気象の状況

横浜地方気象台（横浜市中区山手町：地上 19.8m）における令和 3 年の気象状況は、表 2.2-1 に示すとおりです。

令和 3 年の年平均気温は 17.0℃、年平均相対湿度 68%、年平均風速 3.5m/s、最多風向は北、年間降水総量 2,056.5mm となっています。

表 2.2-1 気象の状況（令和 3 年）

項目	年間	令和 3 年											
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平均気温 (℃)	17.0	6.2	9.1	13.2	15.2	19.6	22.7	26.0	27.5	22.6	18.7	14.3	8.8
最高気温 (℃)	35.1	18.1	21.9	23.1	26.1	28.3	30.4	34.2	35.1	32.0	29.2	21.9	20.4
最低気温 (℃)	-0.8	-0.8	0.5	4.3	7.4	11.8	16.5	20.0	19.0	17.3	9.3	5.2	-0.7
平均相対湿度 (%)	68	56	48	62	60	73	76*	82	79	80	74	63	57
平均風速 (m/s)	3.5	3.3	4.0	3.9	3.7	3.9	2.9	2.7	3.7	3.2	3.6	3.3	3.6
最多風向	北*	北	北	北	北	南西	南南東	南	南南西	北	北	北*	北
日照時間 (h)	2,215.8	185.3	227.4	191.1	218.5	162.6	148.5	189.5	191.7	115.2	171.0	208.7	206.3
日照率 (%)	50	60	75	52	56	38	34	43	46	31	49	68	68
降水総量 (mm)	2,056.5	46.5	97.5	219.0	155.5	113.5	113.5	368.0	274.0	197.5	209.5	127.5	134.5

※：統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱います（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の 80% を基準とします。

資料：「横浜地方気象台」（気象庁ホームページ、令和 4 年 4 月調べ）

「横浜市統計書[web 版]」（横浜市ホームページ、令和 4 年 4 月調べ）

2.2.2 地形、地質、地盤の状況

1)地形

調査区域の地形の状況は、図 2.2-1 に示すとおりです。

計画区域は、人工地形分類では盛土地、自然地形分類では谷底低地に分類されます。

2)地質

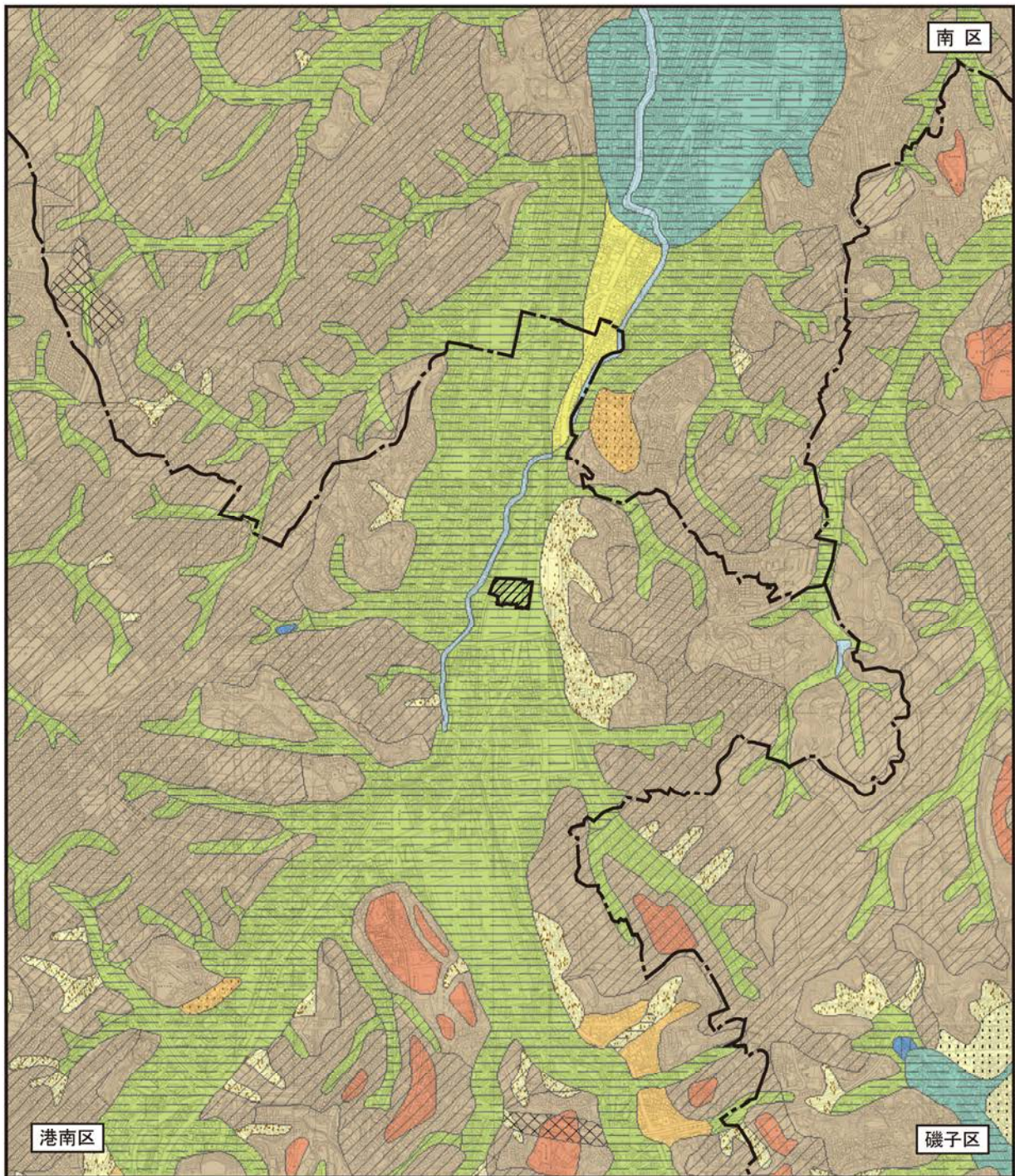
調査区域の表層地質の状況は、図 2.2-2 に示すとおりです。

計画区域の位置する場所の表層地質は、未固結堆積物となっています。

3)地盤・土壌

調査区域の土壌の状況は図 2.2-3 に、軟弱地盤の分布状況は図 2.2-4 に示すとおりです。

計画区域の位置する場所の土壌は人工改変地土であり、層厚 5~20m程度の軟弱地盤が存在するとされています。

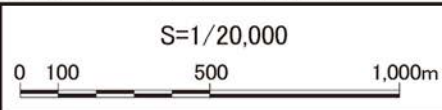


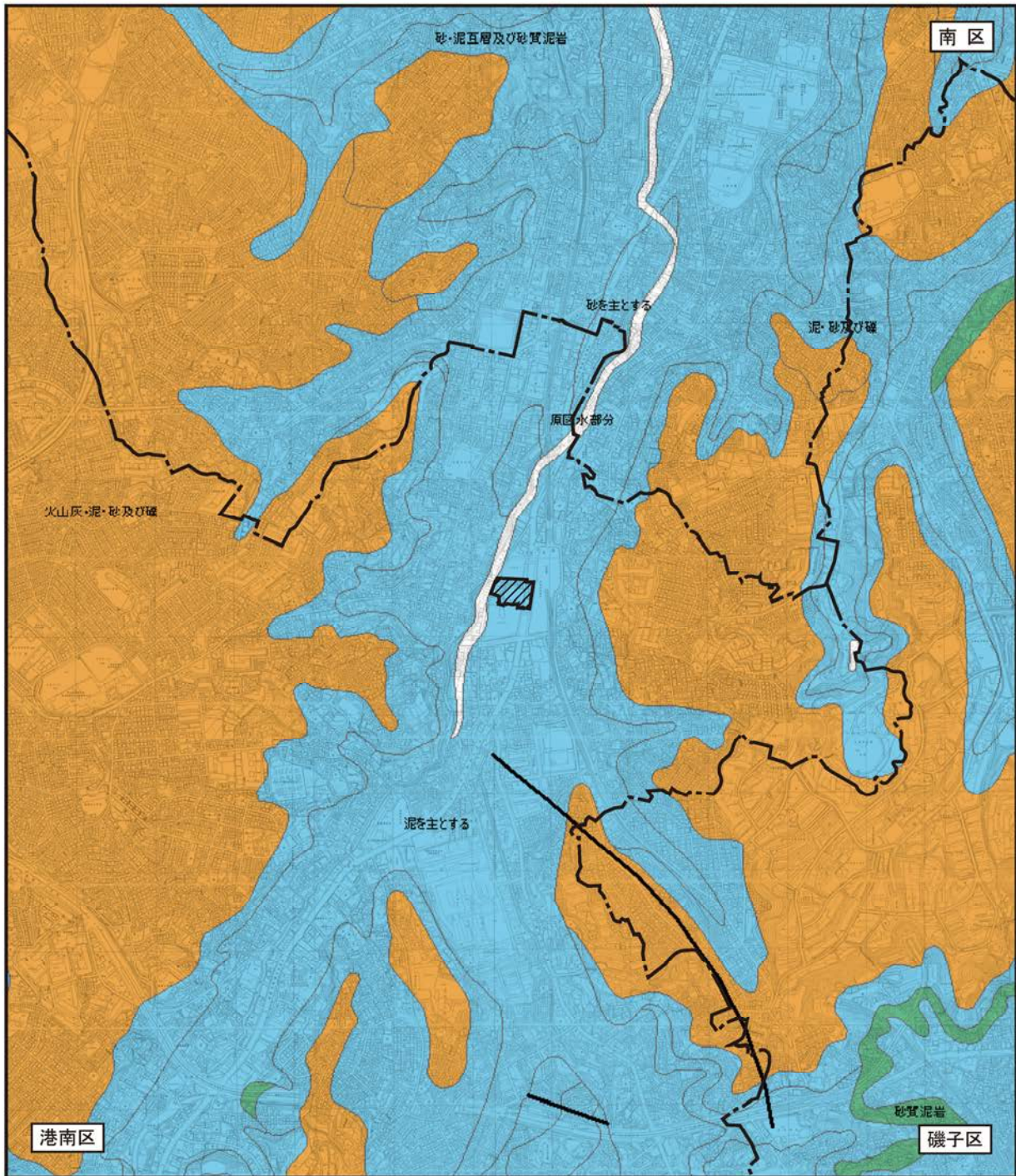
凡例

計画区域	人工地形分類	自然地形分類	谷底低地
区界	人工平坦地 (切り盛り造成地)宅地等	山地斜面等	自然堤防
	盛土地	麓斜面及び崖錐	三角洲・海岸低地
	埋立地	砂礫台地(更新世段丘)	砂州・砂堆(礫州・礫堆)
	切土地	砂礫台地(完新世段丘)	現水部
		ローム台地(更新世段丘)	旧水部

資料：「土地履歴調査データ(人工地形及び自然地形分類図)」(国土交通省ホームページ、令和4年4月調べ)

図2.2-1 地形分類図






凡例

 計画区域
 区界

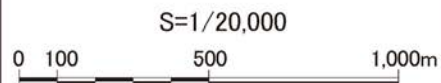
断層
 断層線

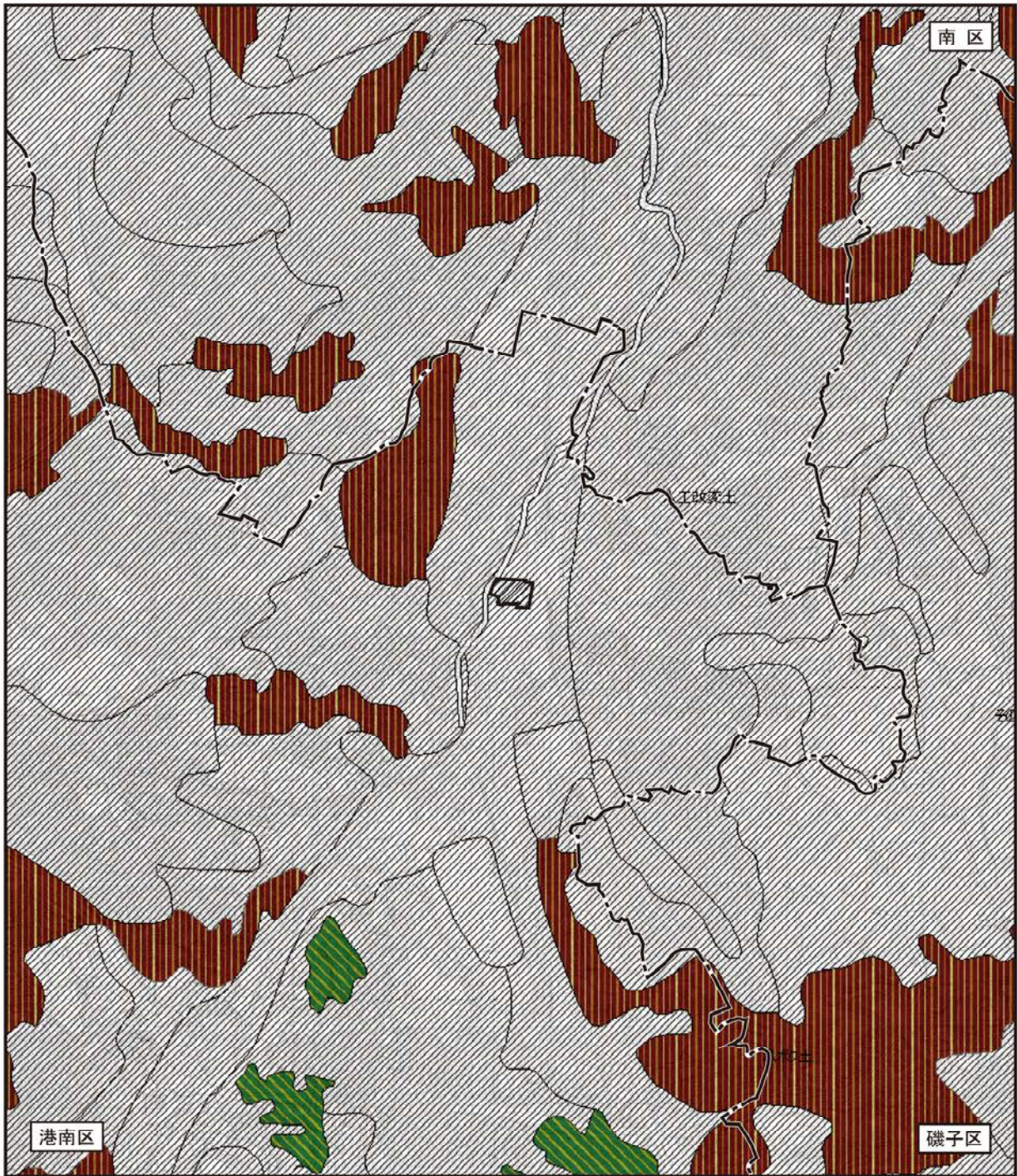
表層地質図

 未固結堆積物
 固結堆積物
 火山性岩石
 水部






資料：「1/50,000土地分類基本調査(表層地質図)」(国土交通省ホームページ、令和4年4月調べ)

図2.2-2 表層地質図



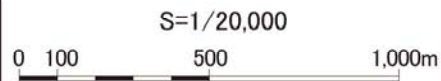


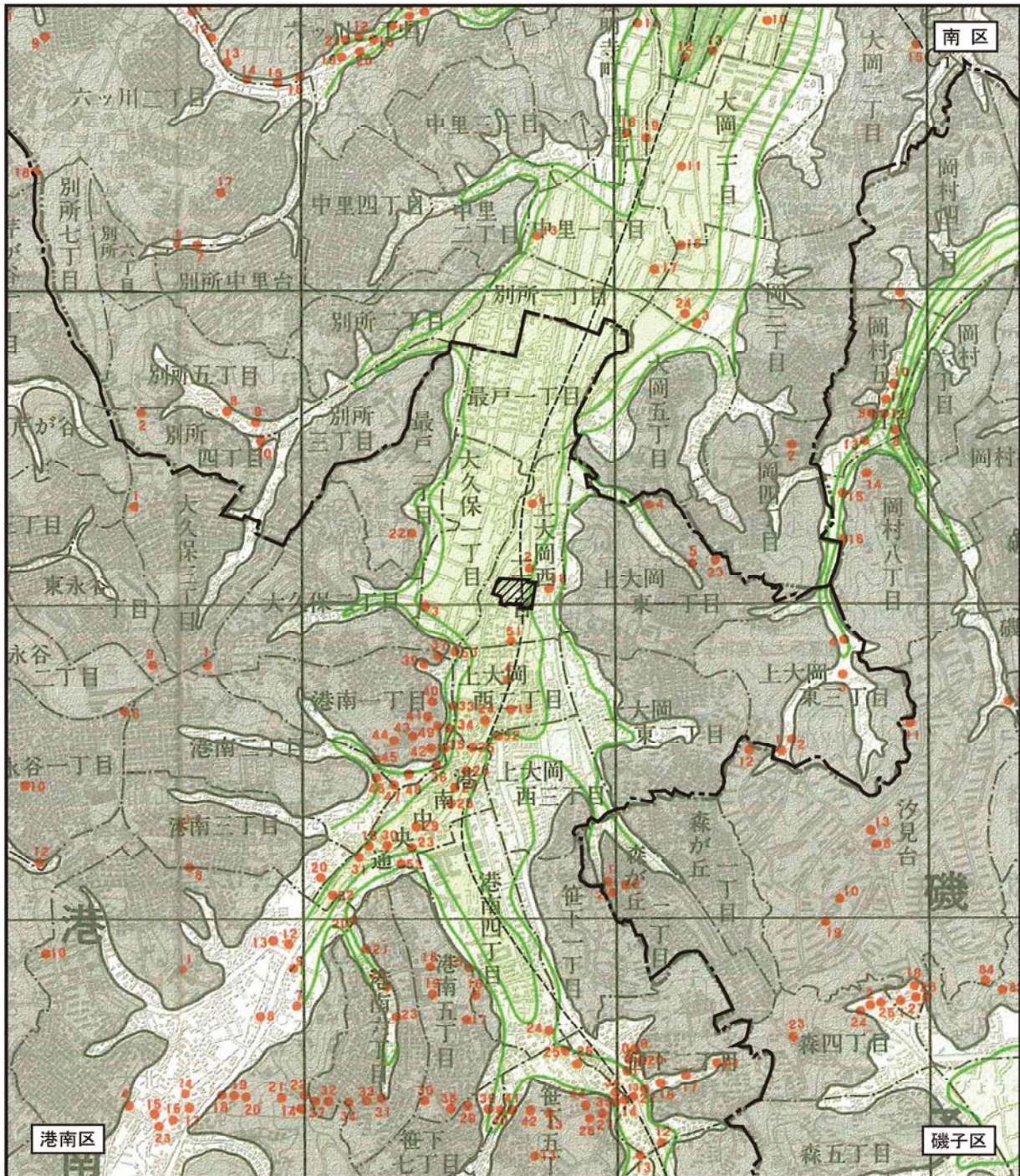
凡例

- | | |
|--|--|
|  計画区域 |  黒ボク土 |
|  区界 |  褐色森林土 |
| |  人工改変地土 |








資料：「1/50,000土地分類基本調査(土壤図)」(国土交通省ホームページ、令和4年4月調べ)

図2.2-3 土壤図



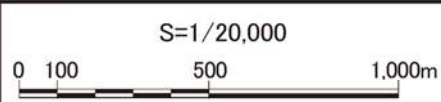


凡例

- | | | | |
|---|----------|---|--------|
|  | 計画区域 |  | 0~5m |
|  | ボーリング地点 |  | 5~10m |
|  | 丘陵地及び台地面 |  | 10~20m |
| | |  | 20~30m |

資料：「横浜市地盤環境調査報告書」（平成15年3月、横浜市環境科学研究所）

図2.2-4 軟弱地盤分布図



2.2.3 水循環の状況

調査区域における主な河川の状況は、表 2.2-2 及び図 2.2-5 に示すとおりです。

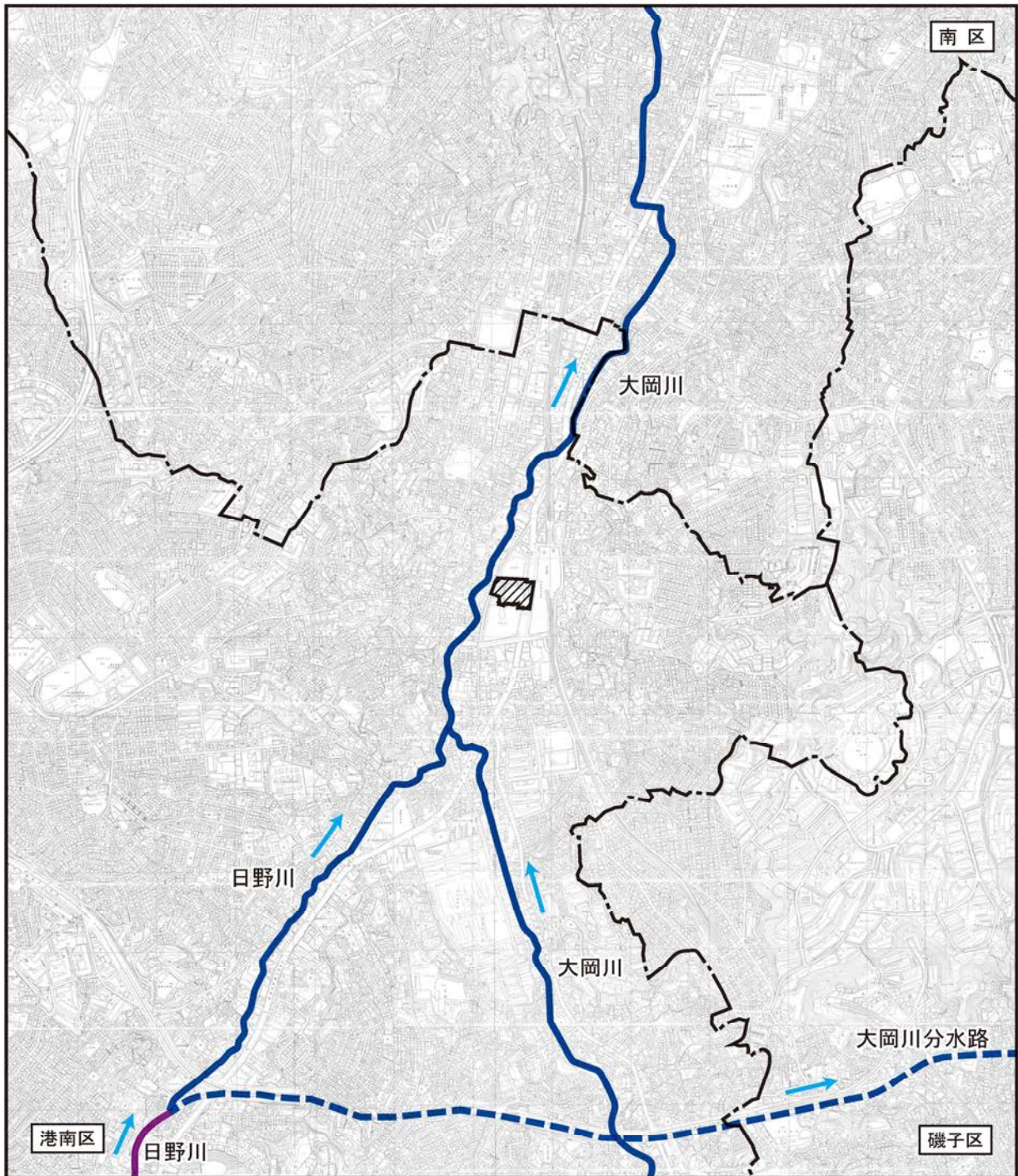
計画区域の南側から北側へ二級河川の大岡川が流れており、大岡川には日野川が流入しています。

また、大岡川の治水対策として、大岡川分水路が設けられています。

表 2.2-2 河川の状況

河川区分	水系名	河川名	延長 (m)	管理
二級河川	大岡川	大岡川	10,540	神奈川県知事管理
		日野川	1,900	
		大岡川分水路	3,640	
準用河川	大岡川	日野川	970	横浜市長管理

資料：「横浜市を流れる河川一覧」（横浜市道路局ホームページ、令和4年4月調べ）

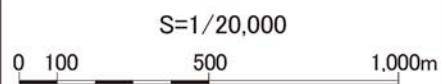


凡例

- 計画区域 流下方向
- 区界
- 二級河川
- 準用河川

注) 点線はトンネル内部であることを示しています。
 資料: 「横浜市を流れる河川一覧」(横浜市道路局ホームページ、令和4年4月調べ)

図2.2-5 河川図



2.2.4 植物、動物の状況

1)植物

調査区域における現存植生図は図 2.2-6 に、潜在自然植生図は図 2.2-7 に示すとおりです。

調査区域は、ほとんどが市街地及び緑の多い住宅地となっていますが、計画区域の東約 1km に位置する久良岐公園(p.64、p.67 参照)等、一部に樹林地(植生区分)が残っています。なお、計画区域及びその周辺は、市街地、緑の多い住宅地または開放水域に位置しており、まとまった樹林地(植生区分)はありません。計画区域及びその周辺に現存する緑地等に生育する樹木は、近年人工的に植栽されたものです。また、森林法に基づく保安林等の重要な樹林もありません。

調査区域の潜在自然植生としては、開放水域を除き、概ね常緑樹林が成立するとされており、計画区域及びその周辺は、主にイノデタブ群集・典型亜群集が成立するとされています。

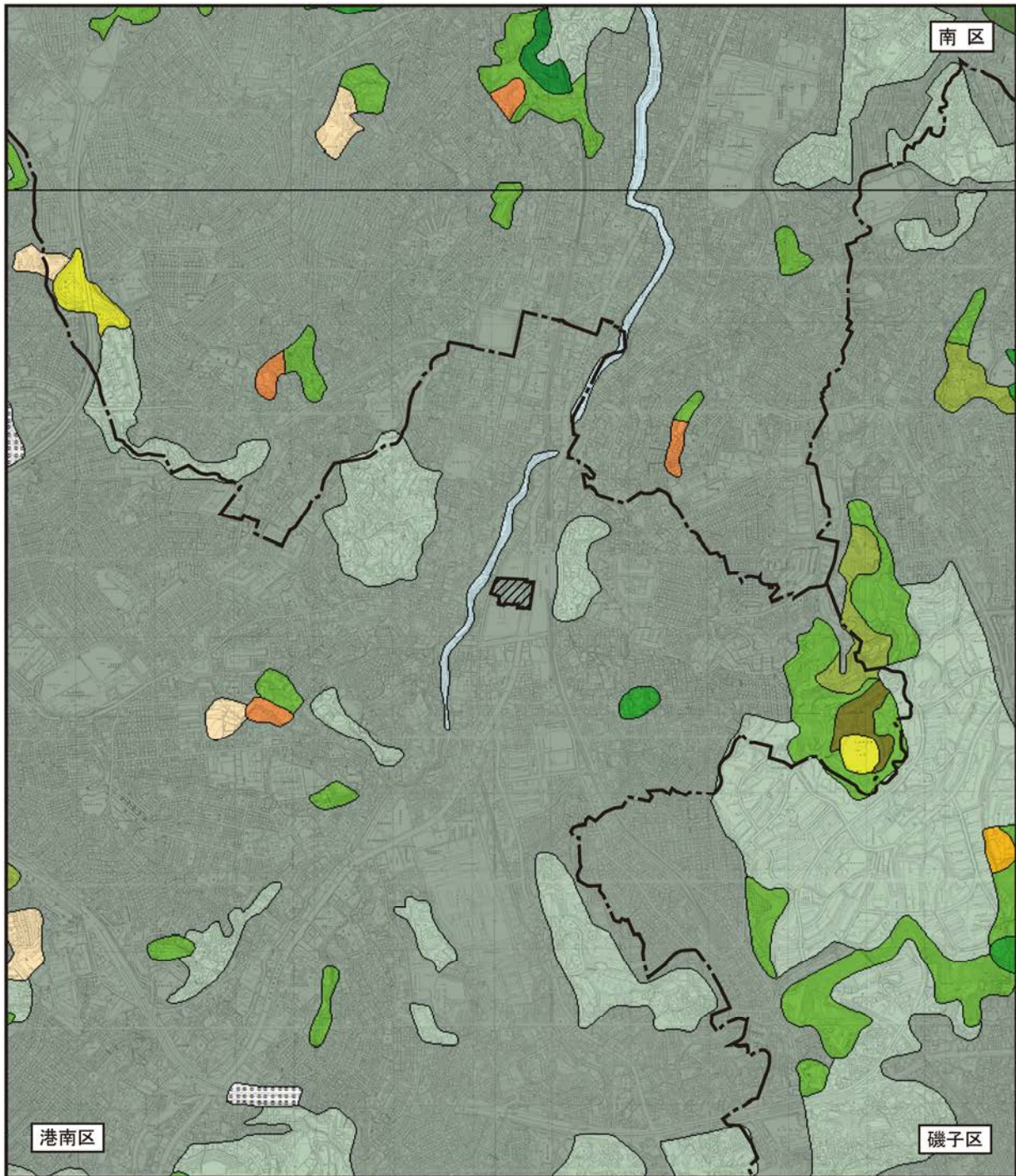
調査区域における特定植物群落、巨樹・巨木林、名木古木及び天然記念物の分布状況は表 2.2-3～5 及び図 2.2-8 に、地域森林計画対象民有林の分布状況は図 2.2-9 に示すとおりです。

調査区域には、「自然環境保全基礎調査」(環境省)により選定された特定植物群落が 2 箇所、巨樹・巨木林が 2 本、横浜市指定の名木古木が 9 本、天然記念物が 2 箇所存在しています。また、地域森林計画対象民有林は、計画区域の東約 1km に分布しています。なお、調査区域には、「神奈川県レッドデータブック 2022 植物編」(令和 4 年 3 月、神奈川県)に記載された「絶滅のおそれのある地域個体群」に該当する個体群はありません。

















また、「令和 2 年度 陸域生物多様性に関する調査業務委託報告書」(令和 3 年 3 月、横浜市環境科学研究所)によると、調査区域では、計画区域の東約 1km に位置する久良岐公園にて植生区分調査及び植物調査が行われています。調査結果は表 2.2-6 及び表 2.2-8 に示すとおりです。

久良岐公園の植生は、代償植生(森林)のオニシバリ-コナラ群集が最も多くを占めています。また、確認種数は、シダ植物で 11 科 26 種、裸子植物で 5 科 8 種、離弁花で 63 科 218 種、合弁花で 25 科 111 種、単子葉植物で 15 科 115 種であり、そのうちレッドリスト等掲載種は 9 種でした。

なお、調査区域には都市緑地法に基づく特別緑地保全地区が 3 箇所(p.66～67 参照)存在しています。

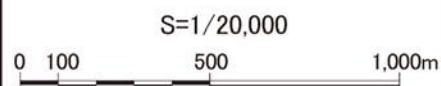


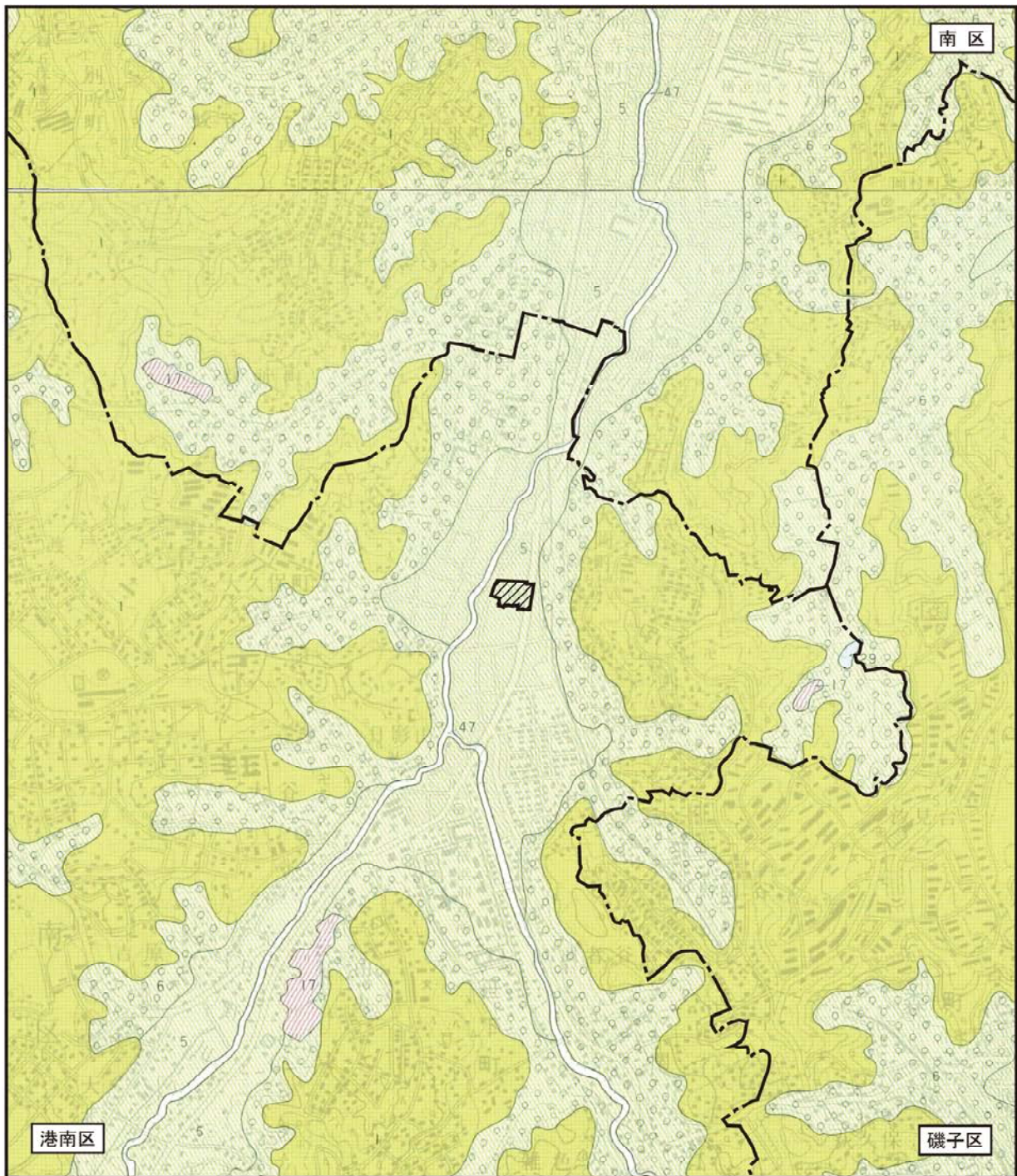
凡例

- | | | | |
|--|---|---|---|
|  計画区域 |  ヤブコウジスダジイ群集 |  低木群落 |  市街地 |
|  区界 |  イノデタブノキ群集 |  オオシマザクラ植林 |  緑の多い住宅地 |
| |  シイ・カシ二次林 |  竹林 |  造成地 |
| |  オニシバリ・コナラ群集 |  ゴルフ場・芝地 |  開放水域 |
| |  アカメガシワ・カラスザンショウ群落 |  畑雑草群落 | |

資料：「1/25,000植生図(横浜西部・戸塚)」(環境省生物多様性センターホームページ、令和4年4月調べ)

図2.2-6 現存植生図

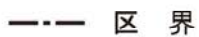




凡例



計画区域



区界



ヤブコウジスダジイ群集・典型亜群集



イノデータブ群集・典型亜群集



イノデータブ群集・ケヤキ亜群集



ハンノキ群落



ウキクサクラス及びヒルムシロクラス (開放水域植物群落)



開放水域

資料：「神奈川県潜在自然植生図」(昭和50年、神奈川県)

図2.2-7 潜在自然植生図

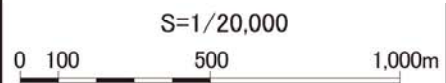


表 2.2-3 特定植物群落及び巨樹・巨木林の状況

特定植物群落

行政区分	名称	面積 (ha)
南区	大岡のイロハモミジ-ケヤキ群集	0.5
	白山神社の社叢林	0.01

巨樹・巨木林

行政区分	No.	樹種	樹高 (m)	樹幹 (cm)
南区	A	スダジイ	20	450
	B	スダジイ	10	350

注) 表中の No.は、図 2.2-8 に対応します。

資料: 「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年、環境庁)

「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 関東版(Ⅱ)」(平成 3 年、環境庁)

表 2.2-4 名木古木の状況

行政区分	No.	所在地	樹種	樹齢 (年)	樹高 (m)	目通周 (m)
港南区	1	港南一丁目 3-2	タブノキ	350	15.0	3.3
	2	最戸一丁目 2-18	タブノキ	340	8.0	3.0
	3	日野中央一丁目 1549	スダジイ	400	20.0	4.5
			スダジイ	400	20.0	3.6
	5	港南三丁目 1800-4	タブノキ	125	8.0	1.9
	6	港南三丁目 1799-4	ケヤキ	125	12.0	1.7
南区	7	別所二丁目 30-29	タブノキ	340	12.0	2.7
	8		スダジイ	290	10.0	2.6
	9		スダジイ	340	3.5	2.5

注 1) 表中の No.は、図 2.2-8 に対応します。

注 2) 平成 31 年 3 月 13 日現在

資料: 「名木古木に指定された樹木一覧」(横浜市環境創造局ホームページ、令和 4 年 4 月調べ)

表 2.2-5 天然記念物の状況

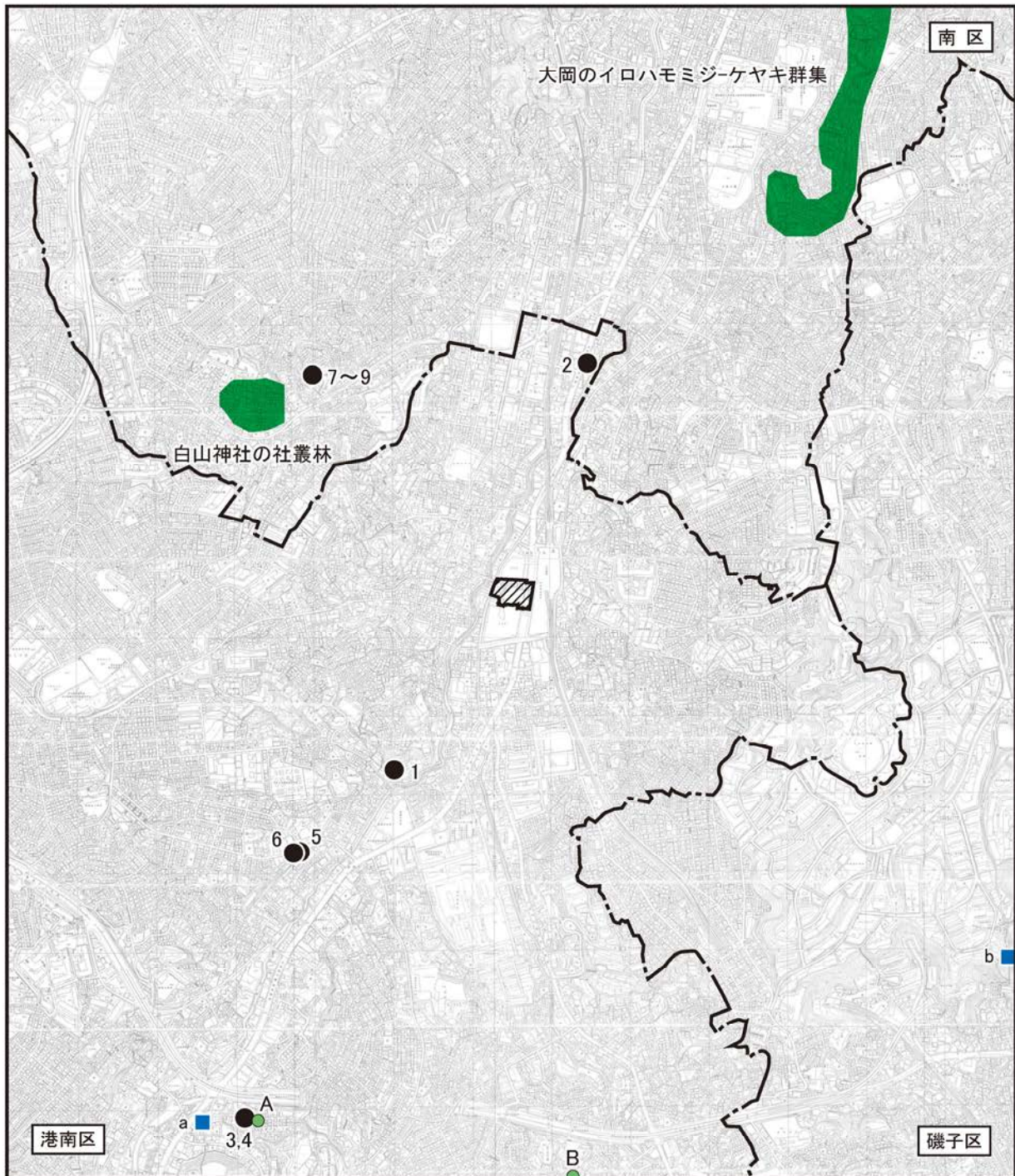
行政区分	No.	所在地	分類	種別	名称	指定・登録年
港南区	a	日野中央一丁目 6-34	指定史跡名勝 天然記念物	天然 記念物	日野のシイ	昭和 36 年県指定
磯子区	b	森二丁目 16-7 他	指定史跡名勝 天然記念物	天然 記念物	森浅間神社とその周辺の 樹叢	平成 6 年県指定

注) 表中の No.は、図 2.2-8 に対応します。







資料: 「横浜市行政地図情報提供システム 文化財ハマ Site」(横浜市ホームページ、令和 4 年 4 月調べ)

「国・神奈川県および横浜市指定・登録文化財目録 (令和元年 11 月 5 日現在)」

(横浜教育委員会ホームページ、令和 4 年 4 月調べ)

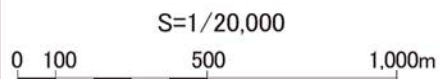


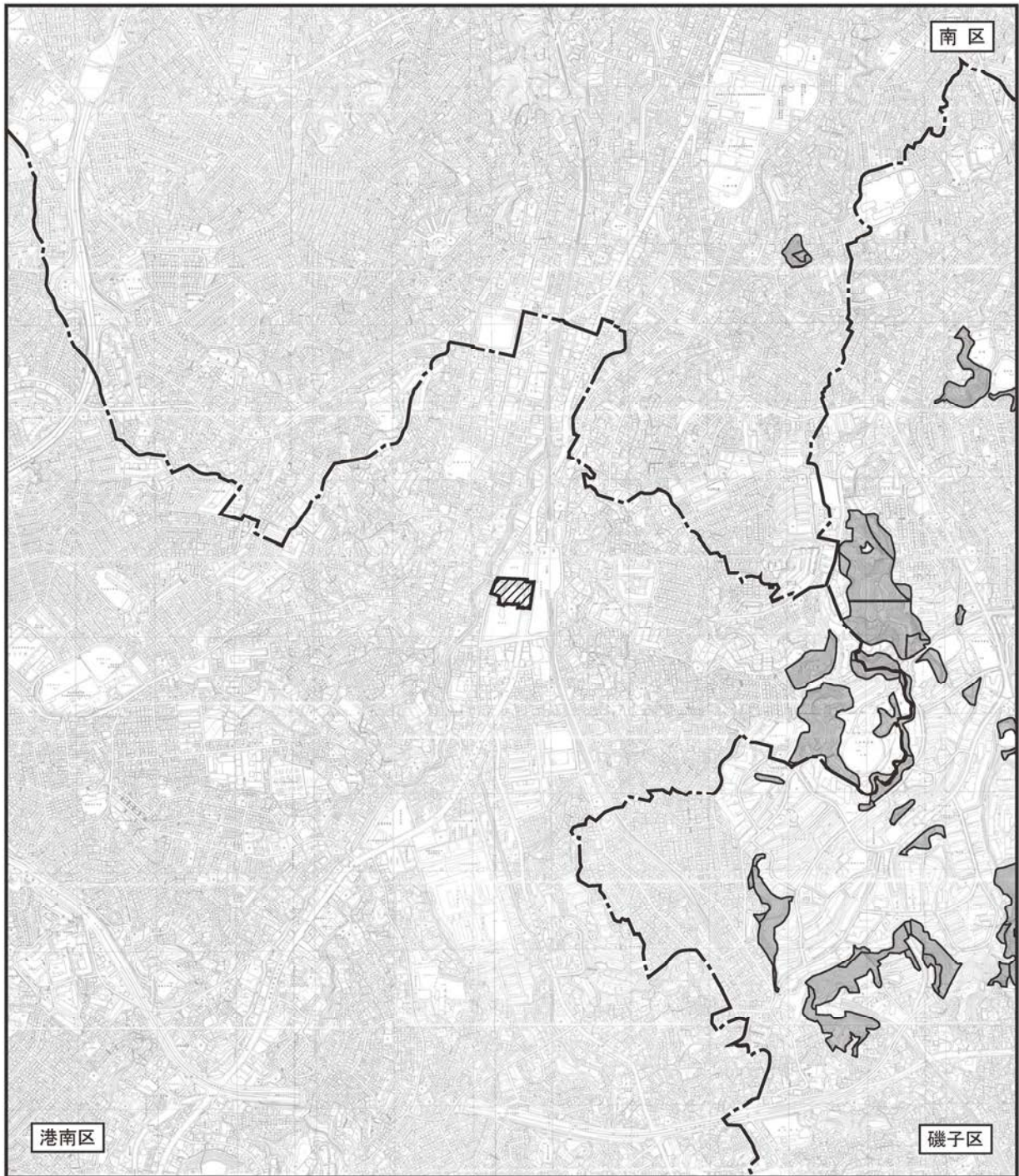
凡例

- | | | |
|--|--|---|
|  計画区域 |  特定植物群落 |  天然記念物 |
|  区界 |  巨樹・巨木林 | |
| |  名木古木 | |

注) 図中のNo.は、表2.2-3~5に対応します。
 資料：「自然環境調査Web-GIS」(環境省生物多様性センターホームページ、令和4年4月調べ)
 「名木古木に指定された樹木一覧」(横浜市環境創造局ホームページ、令和4年4月調べ)
 「横浜市行政地図情報提供システム 文化財ハマSite」(横浜市ホームページ、令和4年4月調べ)
 「国・神奈川県および横浜市指定・登録文化財目録(令和元年11月5日現在)」(横浜市教育委員会ホームページ、令和4年4月調べ)

図2.2-8 特定植物群落及び巨樹・巨木林
 名木古木、天然記念物位置図






凡例

 計画区域

 地域森林計画対象民有林

 区界

資料：「地域森林計画対象民有林位置図」（神奈川県ホームページ、令和4年4月調べ）

図2.2-9 地域森林計画対象民有林位置図



表 2.2-6 植生区分【久良岐公園】

区分	植生	面積 (㎡)	面積率 (%)
自然植生 (森林)	アカガシ群落	5,812	2.4
自然植生 (草地)	ヨシ群落	864	0.4
代償植生 (森林)	オニシバリ-コナラ群集	146,687	59.7
植林地	サクラの植栽地	10,817	4.4
植栽地	植栽地 (高木)	27,195	11.1
	人工草地	33,036	13.4
その他	緑の多い住宅地等	1,334	0.5
	開放水面	1,855	0.8
	構造物・人工裸地	18,173	7.4
総計		245,773	-

資料：「令和2年度 陸域生物多様性に関する調査業務報告書」（令和3年3月、横浜市環境科学研究所）

表 2.2-7 レッドリスト等掲載種の選定基準

選定基準	カテゴリー	記号
「文化財保護法」（昭和25年5月、法律第214号）	特別天然記念物	特
	天然記念物	天
「絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律」（平成4年6月、法律第75号）	国際希少野生動植物種	際
	国内希少野生動植物種	内
	緊急指定種	緊急
「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（レッドリスト2020）」（令和2年3月、環境省） 【環境省RL】	絶滅	EX
	野生絶滅	EW
	絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN
	絶滅危惧ⅠA類	CR
	絶滅危惧ⅠB類	EN
	絶滅危惧Ⅱ類	VU
	準絶滅危惧	NT
	情報不足	DD
「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」（平成18年7月、神奈川県立生命の星・地球博物館） 【神奈川県RD】 *植物は「神奈川県レッドデータブック2022植物編」（令和4年3月、神奈川県）	絶滅	絶滅
	野生絶滅	野生
	絶滅危惧Ⅰ類	I類
	絶滅危惧ⅠA類	IA類
	絶滅危惧ⅠB類	IB類
	絶滅危惧Ⅱ類	II類
	準絶滅危惧	NT
	減少種	減少
	希少種	希少
	要注意種	要注意
	注目種	注目
情報不足	DD	
「横浜の植物」（平成15年7月、横浜植物会） 【横浜市】	絶滅種	Ex-A Ex-B*
	絶滅寸前	En-A En-B*
	危急種	V-A V-B*
	準絶滅危惧種	R

注) 【 】内は略名を示しています。

※：Aは「横浜市が分布域の縁にあたる種や海岸生の種等、分布域や分布量が限られた種」を、Bは「かつては横浜市全域に広く、あるいは点々と見られた種」を示しています。

表 2.2-8 植物調査結果の概要【久良岐公園】

分類	確認種数	レッドリスト等掲載種		
		科名	種名	選定基準：カテゴリー※
シダ植物	11科 26種	ハナヤスリ	アカハナワラビ	横浜市：En-A
		オシダ	ホソバカナワラビ	横浜市：En-B
裸子植物	5科 8種	—	—	—
離弁花	63科 218種	キンポウゲ	ボタンヅル	横浜市：V-B
		ユキノシタ	チダケサシ	横浜市：V-B
合弁花	25科 111種	キク	ホソバガンクビソウ	神奈川県 RD：II類
単子葉植物	15科 115種	カヤツリグサ	モエギスゲ	横浜市：V-B
		ラン	エビネ	環境省RL：NT 神奈川県RD：NT 横浜市：V-B
			キンラン	環境省RL：VU 神奈川県RD：NT
			マヤラン	環境省RL：VU 横浜市：En-A

※：レッドリスト等掲載種の選定基準及びカテゴリーは、表 2.2-7 に示すとおりです。

資料：「令和2年度 陸域生物多様性に関する調査業務報告書」（令和3年3月、横浜市環境科学研究所）

2)動物

調査区域における鳥獣保護区の状況は表 2.2-9 及び図 2.2-10 に示すとおりです。

「令和3年度鳥獣保護区等位置図」（令和3年10月、神奈川県）によると、調査区域では、港南区と磯子区にまたがる久良岐公園が鳥獣保護区に指定されています。

また、「令和2年度 陸域生物多様性に関する調査業務委託報告書」（令和3年3月、横浜市環境科学研究所）によると、調査区域では、久良岐公園にて動物の調査が行われています。調査結果は表 2.2-10 に示すとおりです。

確認種数は、哺乳類で4目5科5種、鳥類で12目28科45種、両生類で1目3科3種、爬虫類で2目6科10種、昆虫類で18目154科641種であり、そのうちレッドリスト等掲載種は哺乳類で0種、鳥類で12種、両生類で1種、爬虫類で5種、昆虫類で19種でした。なお、調査区域には、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」（平成18年7月、神奈川県立生命の星・地球博物館）に記載された「絶滅のおそれのある地域個体群」に該当する個体群はありません。

なお、計画区域及びその周辺は、市街地、緑の多い住宅地または開放水域に位置しており、まとまった樹林地（植生区分）はありません。そのため、計画区域及びその周辺に生息する動物は、市街地等に適応した種が中心と考えられます。また、計画区域の西約20mには、南側から北側へ二級河川の大岡川が流れているため、計画区域及びその周辺には、水辺を利用する動物も生息していると考えられます。

表 2.2-9 鳥獣保護区の状況

名称	場所	面積 (ha)	種類
久良岐	久良岐公園（横浜市港南区）	23.1	身近な鳥獣生息地

資料：「鳥獣保護区、鳥獣保護区特別保護地区一覧」（神奈川県環境農政局ホームページ、令和4年4月調べ）

表 2.2-10 動物調査結果の概要【久良岐公園】

分類	確認種数	レッドリスト等掲載種					
		目名	科名	種名	選定基準：カテゴリー※		
哺乳類	4目5科5種	—	—	—	—		
鳥類	12目28科 45種	チドリ	シギ	ヤマシギ	神奈川県 RD：—/希少		
		タカ	ミサゴ	ミサゴ	環境省 RL：NT 神奈川県 RD：Ⅱ類/NT		
				ツミ	神奈川県 RD：Ⅱ類/希少		
			タカ	ハイタカ	環境省 RL：NT 神奈川県 RD：DD/希少		
		スズメ	モズ	モズ	神奈川県 RD：減少/—		
			ツバメ	ツバメ	神奈川県 RD：減少/—		
			ヨシキリ	オオヨシキリ	神奈川県 RD：Ⅱ類/—		
			ヒタキ	アカハラ	神奈川県 RD：減少/—		
				トラツグミ	神奈川県 RD：減少/—		
			セキレイ	キセキレイ	神奈川県 RD：減少/—		
			アトリ	カワラヒワ	神奈川県 RD：減少/—		
		ホオジロ	アオジ	神奈川県 RD：Ⅱ類/—			
		両生類	1目3科3種	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	神奈川県 RD：要注意
		爬虫類	2目6科10種	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	神奈川県 RD：要注意
ナミヘビ	シマヘビ				神奈川県 RD：要注意		
	アオダイショウ				神奈川県 RD：要注意		
	ヒバカリ				神奈川県 RD：NT		
	ヤマカガシ				神奈川県 RD：要注意		
昆虫類	18目154科 641種	トンボ	イトトンボ	クロイトトンボ	神奈川県 RD：要注意		
			カワトンボ	ハグロトンボ	神奈川県 RD：要注意		
			トンボ	コフキトンボ	神奈川県 RD：要注意		
				シオヤトンボ	神奈川県 RD：要注意		
				チョウトンボ	神奈川県 RD：Ⅱ類		
				マユタテアカネ	神奈川県 RD：要注意		
				リスアカネ	神奈川県 RD：要注意		
			バッタ	キリギリス	オナガササキリ	神奈川県 RD：要注意	
		ケラ		ケラ	神奈川県 RD：要注意		
		バッタ		ショウリョウバッタモドキ	神奈川県 RD：要注意		
		イナゴ		ハネナガイナゴ	神奈川県 RD：NT		
		チョウ	ヤガ	コシロシタバ	環境省 RL：NT		
		コウチュウ	ムネアカセン チコガネ	ムネアカセンチコガネ	神奈川県 RD：NT		
			タマムシ	タマムシ	神奈川県 RD：要注意		
				トゲヒゲトビイロカミキリ	神奈川県 RD：希少		
				キイロトラカミキリ	神奈川県 RD：要注意		
		ハチ	スズメバチ	モンズズメバチ	環境省 RL：DD		
			ミツバチ	ナミルリモンハナバチ	環境省 RL：DD		

※：レッドリスト等掲載種の選定基準及びカテゴリーは、表 2.2-7 に示すとおりです。なお、「—/—」は左が繁殖期におけるカテゴリー、右が非繁殖期におけるカテゴリーを示しています。

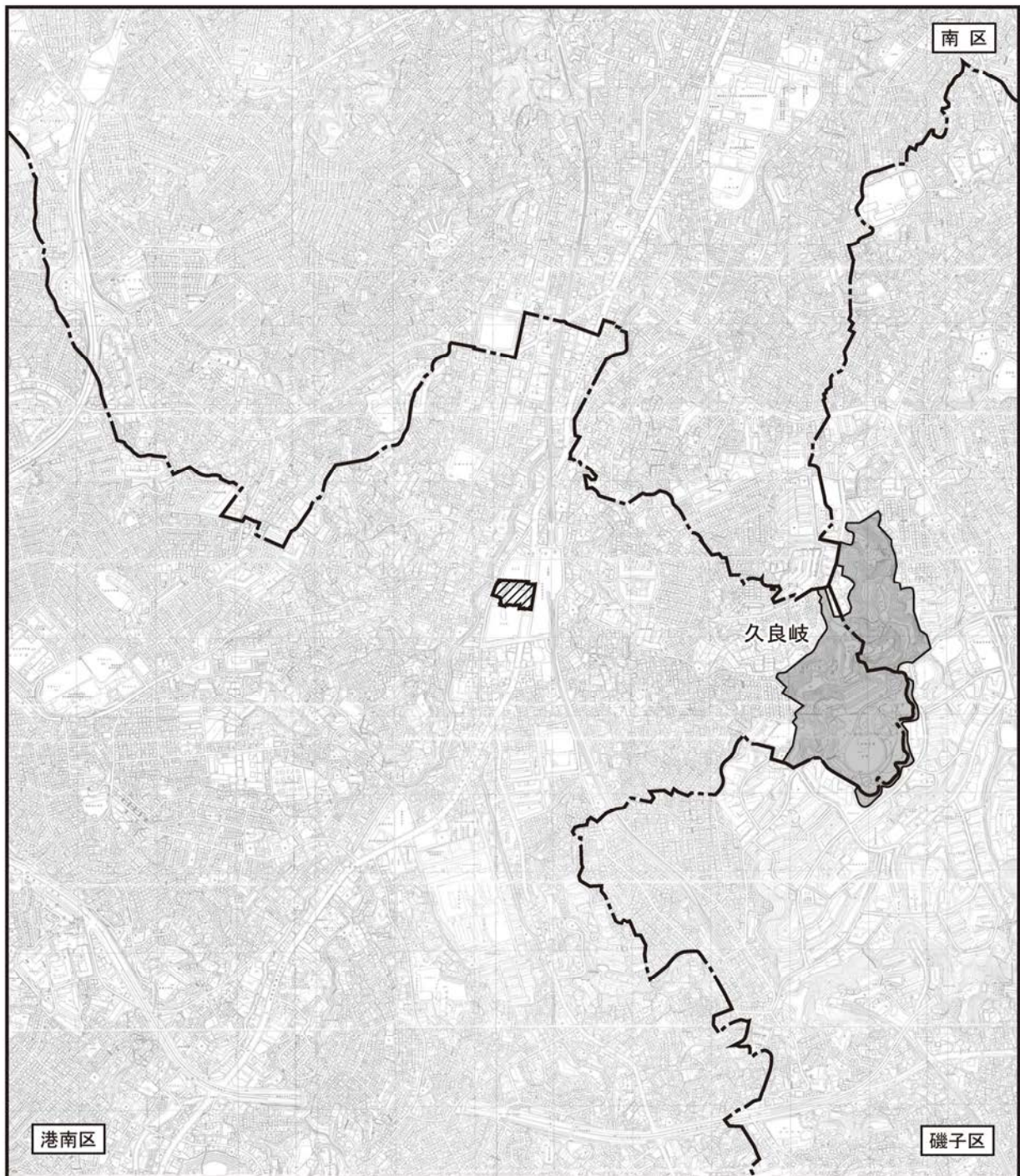
資料：「令和 2 年度 陸域生物多様性に関する調査業務報告書」（令和 3 年 3 月、横浜市環境科学研究所）

3) 農地

調査区域における生産緑地地区の分布状況は図 2.2-11 に示すとおりです。

計画区域に最も近い生産緑地地区は、計画区域の西約 360m に存在しています。

また、「横浜市土地利用のあらまし（平成 26・27 年度）」（平成 30 年 4 月、横浜市建築局企画部都市計画課）によると、調査区域内に農地はありますが、計画区域及びその周辺には農地はありません。

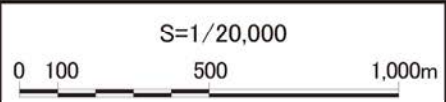


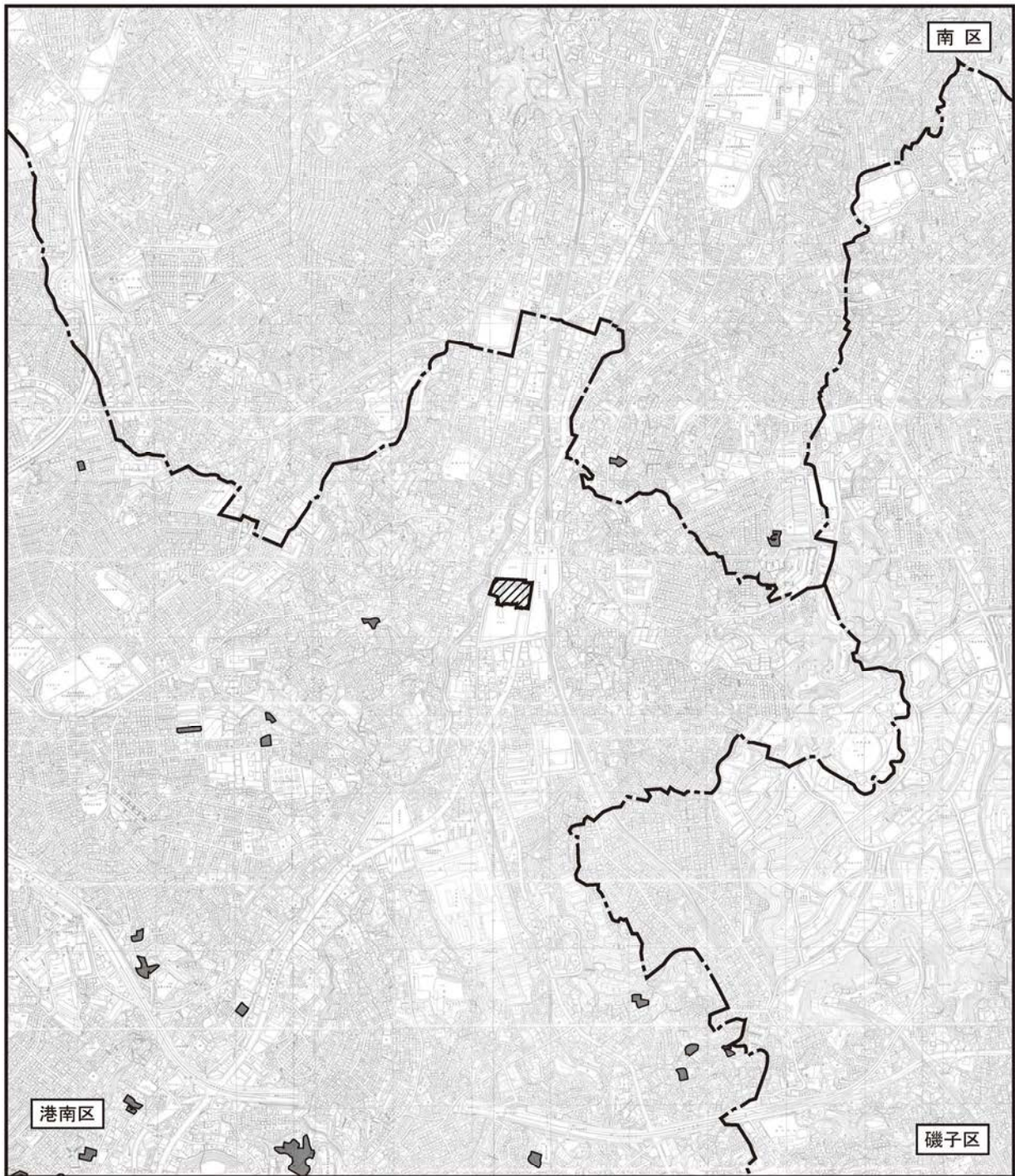
凡 例

-  計画区域
-  区 界
-  鳥獣保護区

資料：「令和3年度鳥獣保護区等位置図」（令和3年10月、神奈川県）

図2.2-10 鳥獣保護区位置図





凡 例

-  計画区域
-  区 界
-  生産緑地地区

資料：「横浜市行政地図情報提供システム i-マップ」(横浜市総務局ホームページ、令和4年4月調べ)

図2.2-11 生産緑地地区位置図

